

# 市政を問う

## 一般質問



浅田 徹 議員  
(かがやき)

### 安全・安心のための 行政施策の推進を

#### 要援護者支援の充実を

**問** 要援護者の登録事務および共助の周知など徹底はできているのか

**答** 市は要介護3から5までの方を対象に文書で登録勧奨している。資料が多く意図が十分伝わらなかったり、家族申請で本人に伝わっていないことも考えられ、今後は分かりやすい資料の作成や、家族の方から本人への周知の徹底を考える。

**問** 要援護者で看護などが必要な方は、公助による福祉施設へ福祉車両での移送の考えはどうか

**答** 指定避難所で生活が困難な方は、福祉避難所への二次避難となるが、福祉避難所の不足も考えられるため、未指定の福祉施設に一時避難の受入れの協力を求めていくことを検討する。また、福祉車両の活用は、必要に

応じて可能な範囲で、社会福祉協議会などの協力を得ることにしている。

#### 指定避難所の見直しを

**問** 内水で浸水する場所など、住民の声をしっかりと聞き、再考できないか

**答** 困っている場所については、改めて地域パラスや安全性を考慮した再検討を考えている。

#### 市分譲地の安全対策を

**問** 戸牧団地は排水施設の老朽化が進み、宅地への影響が懸念されるが、対策の検討はどうか

**答** 不良箇所の情報をいただき、立入調査の可能箇所については、点検などの対応を検討したい。

#### 農道の舗装を可能に

**問** 多面的機能支払交付金事業の施設長寿命化により、農道のアスファルト舗装ができないか

**答** 同事業を活用して地元で舗装される場合に限り、国・県も認めているため、内部検討したい。



老朽化で流水が地下浸透する市分譲地内水路



上田 伴子 議員  
(日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団)

### 敬老会補助金の 継続を求める

#### 敬老会補助金 廃止をやめよ！

**問** 来年度から補助金が廃止されると思っていない市民がほとんどである。8月に区長連合会から、敬老会事業補助金の継続を求める要望書が提出されたが、これに対して市長はどのように考えるか

**答** 敬老会の補助金については、廃止の方向でその財源の活用策を検討すると示した。当初コミュニケーションに配分といっていたが、難しくなったので、高齢者福祉の計画策定のアンケートなどで把握されたニーズに基づいて検討を進めている。区長連合会と話し合い、予算編成までに市の方針を出させてもらう。

**問** 財源は限られているので、これまでの使い道を見直し、より効果的に使っていく。

#### 条例違反の臨時職員の採用を改めよ

**問** 保育園・認定こども園等の臨時職員は低賃金の労働力として使い続けられている。条例には正規の職員が不足した時、臨時的に任用する時、1年以内に廃止が決まっている職とあり、恒常的な雇用は条例違反ではないか

**答** 年度のよって人数が変わってくるので恒常的とは捉えていない。長い人

は20年以上臨時のままである。毎年の試験を廃止する考えはないか。また、経験のある臨時職員を順次採用していく考えはないか

**答** 臨時の任用は1年を超えられないので、面接試験廃止はできない。臨時職員の正規採用についても平等取扱いの原則があり、できない。

**問** 敬老会補助金を無くし、高齢者施策に回すことを前提にすることはおかしいのではないか

**答** 長い人



みんなが楽しみにしている敬老会

# 市政を問う



村岡 峰男 議員  
(日本共産党・あおぞら  
豊岡市会議員団)

## 市民のくらしを 応援する財源はある！

**問** 28年度決算は、実質単年度収支で16億円余の黒字だ。市民の要望はどこまで実現したのか検証されるべきだ。また、市民の負担はどうか。

**答** 市民税の超過課税は夕張市と豊岡市だけだ。市の財政は黒字でも市民の懐は冷えている。廃止してもたちまち財政が赤字になる危険性はないと思うが  
**問** 決算は黒字だが、超過課税の見直しの議論につながるものではない。  
**答** 基金は、使用目的が限定されない財政調整基金117億円、市債管理基金42億円、地域振興基金40億円で計200億円になる。積み立て目標額はいくらか。黒字額と基金を活用して市民の暮らしの応援に活用すべきではないか。例えば子ども医療費の無料化に踏み切

**問** 基金の積立目標額は定めていない。基金は、現在の市民、将来の市民の暮らしを応援するための財源として使う。  
**答** 基金の積立目標額は定めていない。基金は、現在の市民、将来の市民の暮らしを応援するための財源として使う。  
**今森団地に定期バス路線開設を求める**  
**問** 今森団地へのバス乗り入れ策として路線バスの活用を訴えてきた。江原発の中筋周りを天神橋から下におろすことの検討状況は  
**答** 運行事業者との協議では、道路幅員が狭い箇所や急な坂道があり、積雪時の運行や離合スペースの確保等の課題があり、これら課題の対応について検討を進めている。



バスがくる日を、首を長くして待っています

**問** 資料では、

さらなる課題として需要があるかとの指摘があるが、堤防の上までいかなくてもバス利用ができることで需要は確保できる  
**問** 上郷から天神橋間では時間差が発生し不便も生じる。総合的に取り組むことが必要だ。



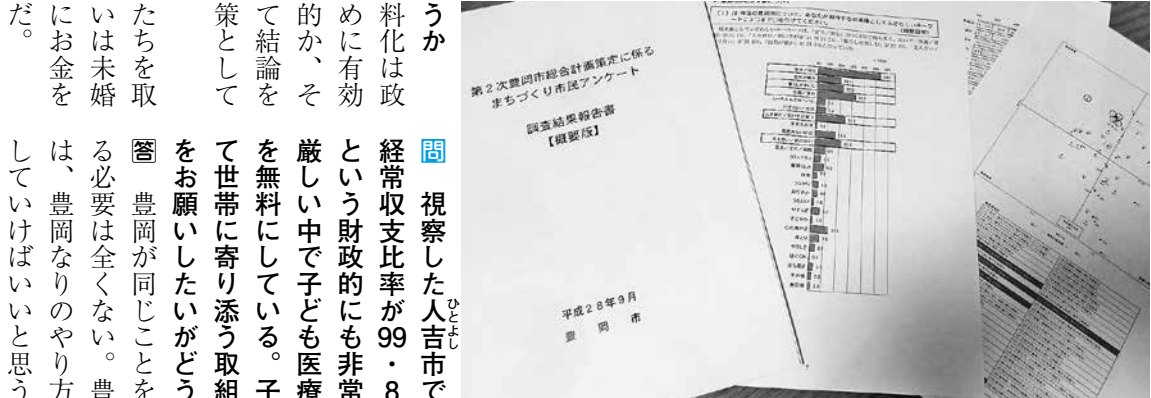
青山 憲司 議員  
(ひかり)

## 子ども医療費無料化で 子育て世帯の応援を！

**問** 市内在住の若い世代から「なぜ、豊岡だけが自己負担が必要なのか」と問われる。財政は他の自治体も同じように厳しい状況にあるはずだ。

**答** 県下では41自治体の内35自治体、実に85%が中学生まで医療費を無料化している。検討の余地はないものか  
**問** 平成28年度から乳幼児医療費は一律400円、月2回まで。中学3年生までの子ども医療費は2割負担、1か月1600円を上限に拡充した。無料化は考えていない。  
**問** 市民アンケートでは子育て環境の充実に関する取組みが重要だが満足度として低い位置にある。若者の移住・定住に「子ども医療費」は大きな意味を持つと思うがどうか  
**答** 豊岡は、合計特殊出生率が1・82と県下で第1位だ。この数字から本

市は最も子育てしやすいと若い女性は思っており判断できると判断できる。  
**問** 子育て全般にわたって総合的に判断する必要はあるが、経済的支援を求める若い世帯は多い。少子化が進む中で子ども医療費の無料化は進めていくべき事業だと考えるがどうか  
**答** 医療費の無料化は政策を達成するために有効か、支出は合理的か、そのことを議論して結論を出さなければ政策として採用できない。



市民の願いが込められた「まちづくり市民アンケート」

いかに若い人たちが取り戻すか、あるいは未婚率を下げることにお金を使うほうが重要だ。  
**問** 豊岡が同じことをやる必要は全くない。豊岡は、豊岡なりのやり方をしたいと思う。  
**問** 視察した人吉市では経常収支比率が99・8%という財政的にも非常に厳しい中で子ども医療費を無料にしている。子育て世帯に寄り添う取り組みをお願いしたいがどうか  
**答** 豊岡が同じことをやる必要は全くない。豊岡は、豊岡なりのやり方をしたいと思う。